

Errata

CC35xxE SimpleLink 2.4GHz/5GHz デュアル バンド Wi-Fi 6 および Bluetooth Low Energy ワイヤレス マイコン



概要

目次

1 アドバイザリ マトリクス.....	2
2 命名法、パッケージのマーキングとリビジョンの識別.....	3
2.1 デバイスおよび開発ツールの命名規則.....	3
2.2 サポート対象デバイス.....	3
2.3 パッケージの記号表記およびリビジョンの識別.....	3
3 シリコン リビジョン 2.0 のアドバイザリ.....	5
4 商標.....	8
5 改訂履歴.....	8

1 アドバイザリ マトリクス

表 1-1. アドバイザリ マトリックス

モジュール	説明	影響を受けるシリコンの リビジョン
		2.0
RADIO	アドバイザリ RADIO_01 — 周囲温度が 85°C を超える場合に使用すると、デバイスの発熱が最大動作条件を超える可能性があります	×
RADIO	アドバイザリ RADIO_02 — 5GHz RF の最大入力レベルは、アソシエーション前に 3dB 低減されます	×
ADC	アドバイザリ ADC_01 — ADC をスケジュールされた定期変換モードで動作させる場合、アドホック変換は実行しないでください	×

2 命名法、パッケージのマーキングとリビジョンの識別

2.1 デバイスおよび開発ツールの命名規則

製品開発サイクルの段階を示すために、TI ではマイクロプロセッサ (MPU) とサポートツールのすべての型番に接頭辞が割り当てられています。各デバイスには次の 3 つのいずれかの接頭辞があります: X、P、または空白 (接頭辞なし) (例: CC3501E, CC3551E)。テキサス・インスツルメンツでは、サポートツールについては、使用可能な 3 つの接頭辞のうち TMDX および TMDS の 2 つを推奨しています。これらの接頭辞は、製品開発の進展段階を表します。段階には、エンジニアリング プロトタイプ(TMDX)から、完全認定済みの量産デバイス/ツール(TMDS)まであります。

デバイスの開発進展フロー:

X 実験的デバイス。最終デバイスの電気的特性を必ずしも表さず、量産アセンブリ・フローを使用しない可能性があります。

P プロトタイプ・デバイス。最終的なシリコン・ダイとは限らず、最終的な電気的特性を満たさない可能性があります。

空白 認定済みのシリコン・ダイの量産バージョン。

サポート・ツールの開発進展フロー:

TMDX 開発サポート製品。テキサス・インスツルメンツの社内認定試験はまだ完了していません。

TMDS 完全に認定済みの開発サポート製品です。

X および **P** デバイスと **TMDX** 開発サポート・ツールは、以下の免責事項の下で出荷されます。

「開発中の製品は、社内での評価用です」。

量産デバイスおよび TMDS 開発サポート・ツールの特性は完全に明確化されており、デバイスの品質と信頼性が十分に示されています。テキサス・インスツルメンツの標準保証が適用されます。

プロトタイプ・デバイス (X または P) の方が標準的な量産デバイスに比べて故障率が大きいと予測されます。これらのデバイスは予測される最終使用時の故障率が未定義であるため、テキサス・インスツルメンツでは、それらのデバイスを量産システムで使用しないよう推奨しています。認定済みの量産デバイスのみを使用する必要があります。

2.2 サポート対象デバイス

本文書は、以下のデバイスをサポートしています。

- CC3501E
- CC3551E

2.3 パッケージの記号表記およびリビジョンの識別

図 2-1 および 表 2-1 はパッケージの記号表記とデバイスのリビジョン コードを示しています。

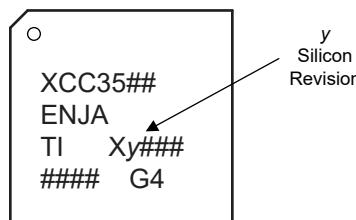


図 2-1. パッケージの記号表記

表 2-1. リビジョンの識別

デバイス リビジョン コード (y)	シリコンのリビジョン
空	PG1.0
B	PG2.0

デバイスのマーキングには型番 **XCC35##** が含まれます。## は正確な型番を示しており、CC3500、CC3501、CC3550、CC3551 のいずれかになります。デバイスの識別については、データシートを参照してください。

デバイスのマーキングには、シリコン リビジョンも **Xy###** の形式で含まれています。「X」は試作段階のシリコンを示し、「y」は正確なシリコン リビジョン、PG1 または PG2 を示します。「y」がない場合は PG1 を示します。例えば、「X458」は PG1 のマーキングだと考えられます。これは、「X」の後に続く 3 文字（この場合は「458」）の前に、「B」（PG2 のマーキング）がないためです。

3 シリコン リビジョン 2.0 のアドバイザリ

以下のアドバイザリは、機能仕様に対する設計上の既知の例外です。アドバイザリには、この文書に追加された順序で番号が付けられます。設計例外が解消されたという理由で、またはデバイス固有のデータ マニュアルまたは技術リファレンスマニュアルに文書化されたという理由で、この文書の将来のリビジョンで一部のアドバイザリ番号を削除することがあります。項目を削除しても、残りのアドバイザリ番号を並べ直すことはありません。

**アドバイザリ
RADIO_01**

周囲温度が 85°C を超える場合に使用すると、デバイスの発熱が最大動作条件を超える可能性があります

影響を受けるリビジョン

PG2.0

詳細

RF コアは、 $105^{\circ}\text{C} > T_A > 85^{\circ}\text{C}$ の範囲では無線の動作を制限しません。温度が 85°C を超える状態で無線を連続動作させると、デバイスが最大定格を超える可能性があります。

回避方法

周囲温度が 85°C を超える場合は、ホストからの転送を制限するか、Wi-Fi および BLE 機能を無効化してください。

アドバイザリ

RADIO_02

5GHz RF 最大入力レベルは、アソシエーション前に 3dB 低減されます

影響を受けるリビジョン

PG2.0

詳細

5GHz 帯でのアソシエーション前には、データシートに規定されている最大入力電力よりも 3dB 低い入力電力で受信される場合にのみ、パケットをデコードできます。アソシエーション後、この制限は適用されません。

回避方法

5GHz 帯で動作させる場合、最大入力電力をデータシートに規定されている最大入力レベルより 3dB 低く制限してください

**アドバイザリ
ADC_01**

ADC をスケジュールされた定期変換モードで動作させる場合、アドホック変換は実行しないでください

影響を受けるリビジョン

PG2.0

詳細

ADC をスケジュールされた定期変換モードで動作させる場合、定期変換が破損する可能性があるため、アドホック変換を実行しないでください。

回避方法

アドホック変換を実行する場合、スケジュールされた定期変換を停止する必要があります。スケジュールされた定期変換は、アドホック変換後に再開できます。

4 商標

すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

5 改訂履歴

資料番号末尾の英字は改訂を表しています。その改訂履歴は英語版に準じています。

日付	改訂	注
2025 年 12 月	*	初版リリース

重要なお知らせと免責事項

TI は、技術データと信頼性データ (データシートを含みます)、設計リソース (リファレンス デザインを含みます)、アプリケーションや設計に関する各種アドバイス、Web ツール、安全性情報、その他のリソースを、欠陥が存在する可能性のある「現状のまま」提供しており、商品性および特定目的に対する適合性の默示保証、第三者の知的財産権の非侵害保証を含むいかなる保証も、明示的または默示的にかかわらず拒否します。

これらのリソースは、TI 製品を使用する設計の経験を積んだ開発者への提供を意図したもので、(1) お客様のアプリケーションに適した TI 製品の選定、(2) お客様のアプリケーションの設計、検証、試験、(3) お客様のアプリケーションに該当する各種規格や、他のあらゆる安全性、セキュリティ、規制、または他の要件への確実な適合に関する責任を、お客様のみが単独で負うものとします。

上記の各種リソースは、予告なく変更される可能性があります。これらのリソースは、リソースで説明されている TI 製品を使用するアプリケーションの開発の目的でのみ、TI はその使用をお客様に許諾します。これらのリソースに関して、他の目的で複製することや掲載することは禁止されています。TI や第三者の知的財産権のライセンスが付与されている訳ではありません。お客様は、これらのリソースを自身で使用した結果発生するあらゆる申し立て、損害、費用、損失、責任について、TI およびその代理人を完全に補償するものとし、TI は一切の責任を拒否します。

TI の製品は、[TI の販売条件](#)、[TI の総合的な品質ガイドライン](#)、[ti.com](#) または TI 製品などに関連して提供される他の適用条件に従い提供されます。TI がこれらのリソースを提供することは、適用される TI の保証または他の保証の放棄の拡大や変更を意味するものではありません。TI がカスタム、またはカスタマー仕様として明示的に指定していない限り、TI の製品は標準的なカタログに掲載される汎用機器です。

お客様がいかなる追加条項または代替条項を提案する場合も、TI はそれらに異議を唱え、拒否します。

Copyright © 2025, Texas Instruments Incorporated

最終更新日：2025 年 10 月